

過去の噴火で起きたこと

新潟焼山ではこれまでに大小様々な規模の噴火が起こっています。大規模な噴火ほど被害は大きくなりますが、小規模な噴火ほど発生しやすい傾向があります。



小噴火

中噴火

大噴火

よく起こる

発生頻度

あまり起こらない

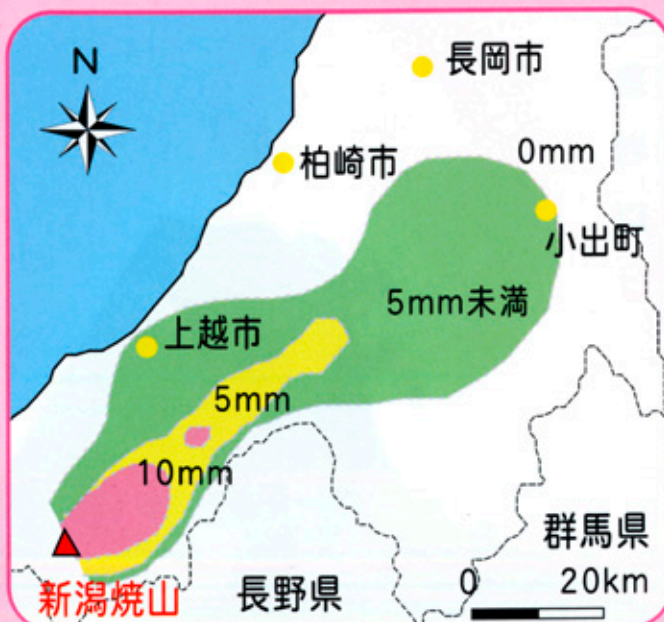
小規模噴火

水蒸気爆発が起き、降灰・噴石・土石流などが発生します。

小規模噴火の代表例は、昭和49年7月の噴火が上げられます。この噴火では火山灰、噴石、泥流が発生しました。

焼山の歴史の中では小さな噴火ですが、噴石によって登山者3名が亡くなっています。

火山灰は、風に運ばれて遠く離れた上越市や小出町に達し、農作物や交通機関に大きな影響を与えました。



昭和49年の噴火で降った火山灰の範囲



昭和49年の噴火で発生した泥流範囲